

平成 31 年 3 月 11 日

報道関係各位

株式会社トーヨー養父バイオエネルギー  
株式会社トーヨー建設  
株式会社トーヨーエネルギーソリューション

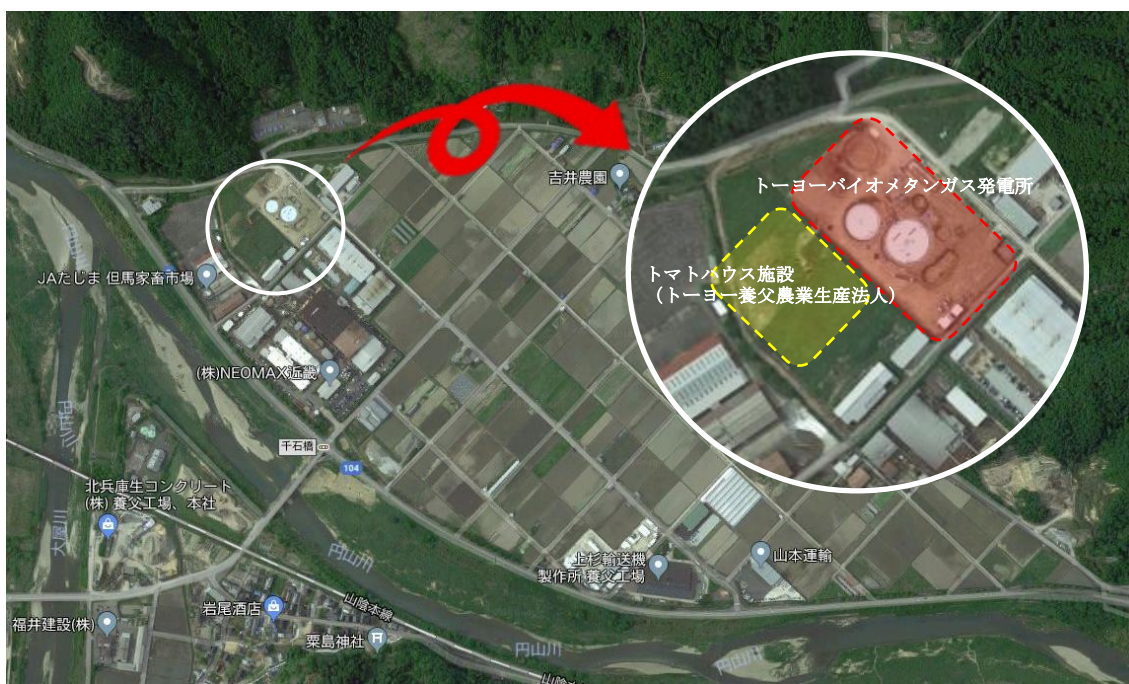
### 「トーヨーバイオメタンガス発電所」竣工式のお知らせ

株式会社トーヨー養父バイオエネルギー（本社：兵庫県養父市）、株式会社トーヨー建設（本社：東京都葛飾区）、株式会社トーヨーエネルギーソリューション（本社：東京都千代田区）のトーヨーグループが中山間農業改革特区“兵庫県養父市”において建設を進めてまいりました「トーヨーバイオメタンガス発電所」はこの度、竣工の運びとなり平成 31 年 3 月 28 日に竣工式を執り行いますのでお知らせいたします。養父市はバイオマス産業都市構想に認定されており、そのプログラムに沿った発電所となります。

#### 《竣工式日時》

日 時 : 平成 31 年 3 月 28 日(木) 13 時～15 時  
場 所 : 兵庫県養父市大藪 1155 他

#### 【計画地案内図】



## ■施設概要

名 称	トーヨーバイオメタンガス発電所
面 積	約 9,000 m <sup>2</sup> (約 2,723 坪)
発 電 規 模	1,426kW (一般家庭約 1800 世帯分)
年 間 発 電 量	約 12,000MW (24 時間 350 日稼働予定)
原 料	家畜ふん尿、食品残渣、植物油
プ ラ ン ト 方 式	湿式中温メタン発酵
生 産 物	消化液、有機質堆肥
雇 用 予 定 人 数	正社員 10 名予定
施 主	株式会社トーヨー養父バイオエネルギー
施 工	株式会社トーヨー建設
プ ラ ン ト 設 計	株式会社トーヨーエネルギーソリューション
工 期	平成 29 年 10 月～平成 31 年 3 月
営業運転開始予定	平成 31 年 4 月



## ■本計画について

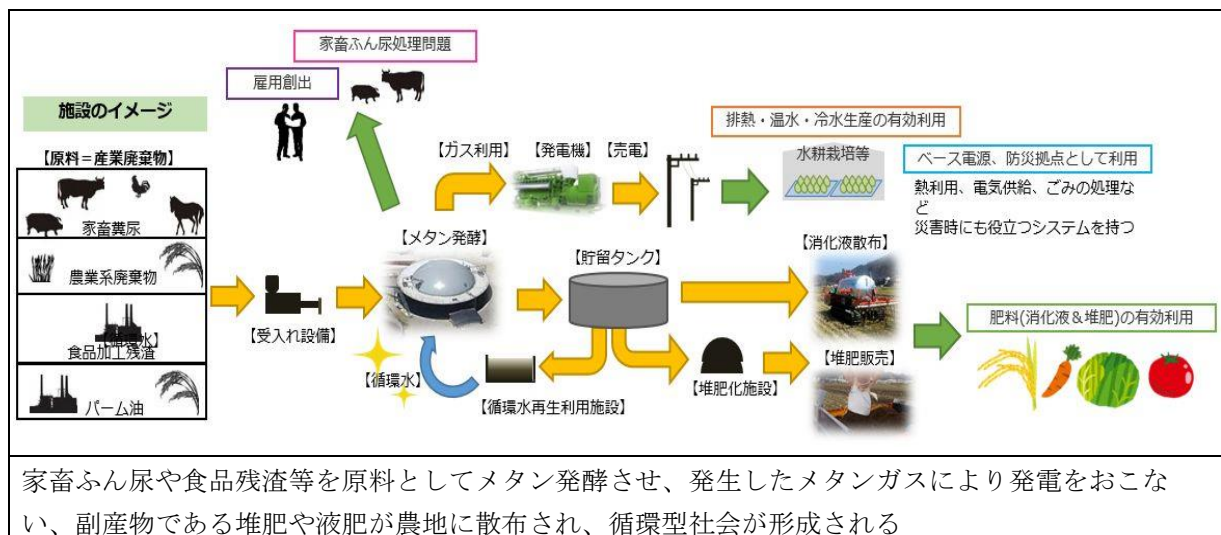
兵庫県養父市は、ブランド牛「但馬牛」の飼育が盛んであり、また、「ブロイラー産業」発祥の地としても知られる地域です。

本事業は、中山間農業改革特区である養父市の主に市内の畜産農家のふん尿や兵庫県内の食品加工会社の食品残渣をメタン発酵させ、発生したメタンガスにより発電をおこなうものです。発電後に副産物として生成される消化液は良質で安価な有機質肥料として同地域で作る特別栽培米や薬物等の野菜にも使用します。

## ■事業の特色

トーヨーグループはこの地域で、「バイオメタン発電所」の運営の他、冬季でも営農可能な「植物工場」の運営をすることで、雇用の創出、家畜ふん尿処理問題の解決や有機質肥料の供給による地元農業への貢献などのシナジーを生み出し、エネルギーの地産地消モデルとなります。

さらに、本発電所は通常メタン発酵に向かないとされる鶏糞を独自の技術にて原料にできるため、より多くの家畜ふん尿処理問題の省力化に寄与します。また、液肥は循環水再生処理をおこない、発酵槽の希釈水として施設内で循環利用ができるため河川放流の必要がなく環境に配慮した発電所となります。



#### ■今後の計画

今後は当該発電施設の隣地に、グループ内で建設を進めている最新鋭の栽培技術の試験圃場を取り入れたトマトハウス施設の運営を予定しております。この栽培技術により通年での栽培が可能となり養父の厳冬を乗り越えた高糖度でコクのあるトマトを安定生産・安定品質での出荷を可能にし、養父市のブランドトマトの確立を図ります。

#### ■グループ概要

トーヨーグループは「人に寄り添う企業」を掲げ「安心安全で住みやすい街づくり」を目指しております。国内外において同様のプロジェクトのみならず、ベトナムでは世界最大規模となる日量約1500トンの家庭から排出される廃棄物をメタン発酵施設で処理し、10MWの発電やRPF製造、リサイクル回収をおこないます。インドネシアでは環境省のJCM制度を利用した12MW小水力発電設備、国内では石川県輪島市で間伐材を利用した木質バイオマスガス化発電施設、福島県を中心に太陽光発電設備、筑波大学と農業事業等の共同研究など、全てのプロジェクトをエンジニアリングからおこないます。今後あらゆる分野にてさらなる雇用創出や地域経済の活性化のみならず、CO2削減に寄与してまいります。

《本事業に関するお問い合わせ先》

株式会社トーヨーホールディングス 広報：03-4400-6104